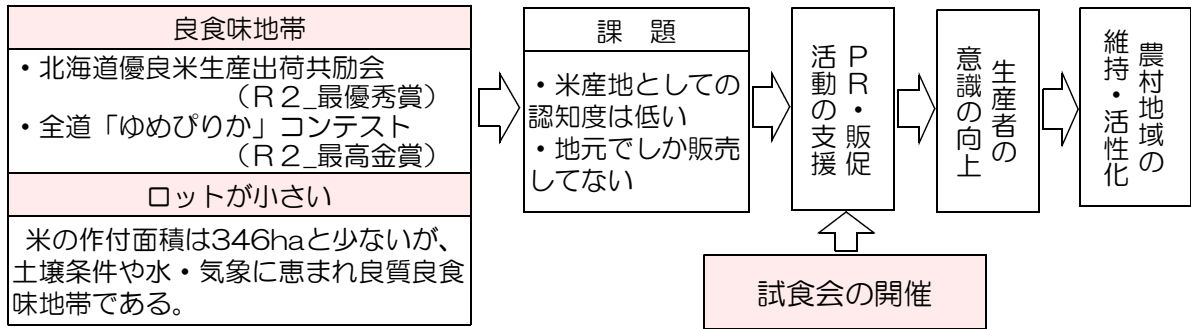


日高管内地域ブランド米PRで地域に活力を ～道庁地下食堂での試食会開催で農業者の生産意欲を高める～

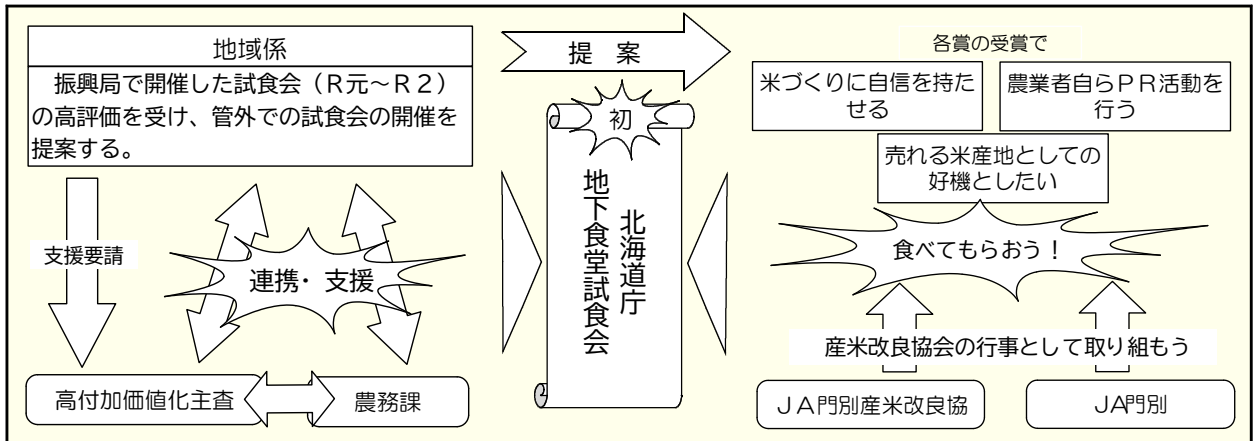
(広域推進 高付加価値化)

- ◆活動年次：令和3年度
 - ◆対象：門別産米改良協会
- ## 1 課題の背景



2 活動の経過

(1) 管外における試食会の開催をトータルコーディネート



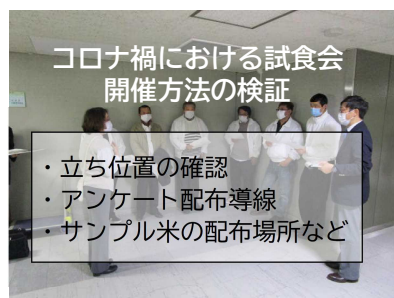
(2) 役割分担

西部支所地域係が構想した、地域ブランド米「馬舞米（うまいべ）」の北海道庁地下食堂の試食会の開催を、振興局の全面的な協力を得ながら、地域係・高付加価値化主査と連携し、開催支援を行う（表1）。

表1 開催支援に向けた役割分担

担当	活動内容
地域係	・企画・開催など構想（仕掛け） ・JA、農業者との連絡調整
高付加価値化主査	・企画書・開催要領などの資料作成 ・総合的な試食会の企画・開催支援
振興局	・本庁、関連部署との連絡調整 （農産振興課こめ係、職員厚生課ほか）

(3) 試食会の開催支援



会場の下見



馬舞米のPRチラシの作成

掲示板の掲載や館内放送(本庁)などによる試食会の宣伝

PRのための資料作成



開催

3 活動の成果

(1) 管外での試食会の開催でPR・販売意欲が高まった



サンプル米を手渡し、馬舞米（うまいべ）をPRする農業者




札幌でPRするせっかくの機会。馬舞米（うまいべ）を受注販売。

・来年度も札幌でのイベント開催に意欲的な声が聞かれる。
・馬舞米（うまいべ）の販売に至らなかったが、イベント用の規格袋（1kg袋と2kg袋）の製造を検討する動きがある。




(2) リアルタイムに反応を共有することができた



←試食会会場から様子と撮影

画面越しに、照れながら感想を話す農業者→

リアルタイムに農業者を共有する事ができた！



←普及センターと農業者が、感想を共有

オンラインでつなぐ

この機会に、馬舞米を食べてもらえたらと思います。

振興局等の皆さんのおかげ。日高管内から出て、PRできた。

馬舞米を知ってもらえる機会となって良かった。

来年も是非取り組みたい。「美味しい」と言っていただけの声が聞けて良かった。

新鮮だった。今後も、続けていけたらと思う。

お手伝いが出来て、良かった。評価は良かったと感じている。

(3) 「馬舞米（うまいべ）」を269名が試食

【回収状況】

- ・A定食試食者：269名
- ・うちアンケート回答者：231名
- ・アンケート回収率：85.9%

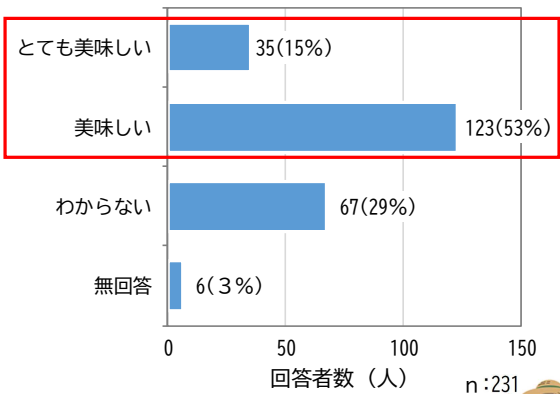
【回答者の概要】

- ・常連利用者の割合：71%
- ・常連利用者の年齢構成


20～30代：31%

40代：18%

50～60代：51%



試食した方から、直接「美味しかった」と感想を聴くことができうれしかった！



※常連利用者とは：食堂を「ほぼ毎日」「週2～3日以上」利用している方

4 今後の対応

- (1) 次年度以降も、対象を管内に拡げ地域ブランド米の試食会の開催支援を行う。
- (2) 販売促進に向けた小袋包装（1～2kg袋）の検討を支援する。